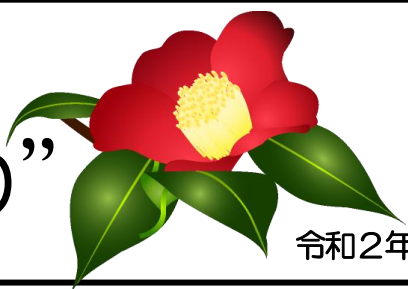


白山市立蝶屋小学校

蝶屋の“わ”



令和2年11月27日12月号

日没が早くなり、朝夕は寒さが身にしみるようになってきました。早いもので、カレンダーは最後の一枚となり、クリスマスやお正月の話題も出る頃になりました。

今月、学校では「あいさつ運動」に取り組みました。子どもたちは、登下校時の玄関など、決まった場面では大きな声であいさつができましたが、来校者に会ったときなど異なった場面でのあいさつは弱かったように思います。

あいさつは「相手意識」が大切です。相手の目を見て、その場の状況に応じたあいさつができるようにしたいものです。あいさつはコミュニケーションの基本であり、社会に出てからも重要なものです。ぜひ、あいさつに対する意識を高めていきたいと思います。



授業参観ありがとうございました

平日の午前中にもかかわらず、多くの方々が参観のために来校されました。今年度初めての授業参観でしたが、お子様の様子はいかがだったでしょうか。

参観にあたり、新型コロナウイルス感染症防止のため、問診票のご提出、参観場所や参観者の制限など多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

また、12月には、個人懇談を予定しています。10分程度の短い時間ですが、有意義な時間になればと思います。



感性のびのびお話の会

「感性のびのびお話の会」に「のまひょうしぎの会」のみなさんに来校いただき、1～3年生に紙芝居や指遊びをしていただきました。絵本の読み聞かせと並んで紙芝居は、子どもたちに人気があります。紙芝居が始まると、子どもたちは目を輝かせ、そのお話の世界に引き込まれていきました。紙芝居には、映像とも絵本とも違う、子どもたちを引きつけてやまない”秘密”があるようです。

